

117 BOX・いいなの箱



阪神・淡路大震災記念

人と防災未来センター

DRI

The Great Hanshin-Awaji Earthquake Memorial
Disaster Reduction and Human Renovation Institution

「この25年間のすべてを振り返り

自分にとって

これは大切と思うモノを

何か一つ、

この箱に入れてください。」

……そんな依頼にお応え下さった方々から

寄せられたモノ・コトを展示しています。

箱は会期を通し、次第に増え、

メモリアルの日に117個が揃います。

ぜひ、ご覧いただき、

あなたの「117BOX・いいなの箱」

についても考えてみてください。

企画展冒頭に掲げたテキストより

この冊子は下記の概要で開催の企画展の展示内容を編集したものです。

名 称：阪神・淡路大震災 25 年 企画
流れてきた時間すべてへの想い
117 BOX・いいなの箱 展
～パーソナルな記憶を未来への学びの種に

会 場：阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
西館 2F 防災未来ギャラリー（有料ゾーン）

会 期：2019 年 10 月 8 日（火）～ 2020 年 6 月 30 日（火）
（当初 2 月 24 日（月・祝）までの予定を 6 月 30 日へ延長）
（ただし、3 月 3 日（火）午後より 6 月 1 日（月）まで
新型コロナウイルス感染症予防措置により臨時休館）

主 催：阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

この箱に
あなたなら何を入れる？



117 BOX・いいなの箱



人 ～今までも、そしてこれからも

031
BOX no.

加古川グリーンシティ防災会が最も大切にしているのは「人」。人はひとりでは小さな力・能力しかありません。しかし、その「人」ひとり一人が持つ能力を「あいさつ」というアイテムを使い、少しずつ時間を掛けて丁寧に紡ぎ繋ぎ合わせると、大きなデータベース・シンクタンクとなります。一人でやれることは限られていますが、多くの人が集まれば「コミュニティ」という我々が大切にする「ライフライン」が完成します。この「人」で構成されるライフラインは、どんな強固な構造物よりも、絶対的に強いのです。「人」は、そのスタート時点から我々の防災活動には欠かすことのできないものであり、これからも大切に育てていきたい宝物です。

写真は、私たち加古川グリーンシティ防災会メンバーの最近の会合でのショットです。



大西 賞典 Syosuke ONISHI

加古川グリーンシティ防災会 特別顧問。
阪神・淡路大震災後、普段の生活に防災を組み込む新しい防災のスタイルを構築。「楽しくなければ防災の輪は広がらない。楽しく防災活動をやろう」というテーマで住民に多彩なアイデアを仕掛け、防災そのものを前面に押し出さずとも防災活動を担えるような意識改革で地域防災力の向上に大きく貢献し活動する。

出品：防災会メンバーを撮影したスナップ写真



当企画展にご出品・ご協力いただいたみなさまに
心よりお礼申し上げます。

企画展 特設サイト

URL : <https://hitobou.com/exhibition/25th/117box/>



企画展 出品者へのインタビュー動画 限定公開サイト

<https://hitobou.com/exhibition/25th/117box/voices/>



117BOX・いいなの箱

2021年1月17日 発行

企画・編集：人と防災未来センター 企画チーム

平林 英二

森口 和香子

森脇 裕

村上 沙織

写真：赤羽 真也

制作協力：岡 愛子 河田 のどか 立部 知保里

発行：阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
(事業部運営課)

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 西館 5階

TEL : 078-262-5502

URL : <https://www.dri.ne.jp>

印刷：株式会社ルネック

© 2021 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

